

2022年2月17日（木）

予算委員会第三分科会（財務省）質問要旨

『封建時代の人頭税と同質の消費税は全世代型社会保障の切り札ではない』について

立憲民主党 福田 昭 夫

はじめに

1. 「国税収納金整理資金」制度を使い、輸出免税還付金を隠蔽している事について

(1) 令和2年度の消費税及び地方消費税還付金は、13兆434億円余りの内訳を教えてください

.....資料1

(2) 国税収納金整理資金受払計算書の2 支払の款・項・目を詳細がわかるように見直す筈ではなかったのか？

(3) 輸出免税還付金は還付するにあたって総額で判断しているという事ではなかったのか？

(4) 政府は消費税を創設した平成元年度から、輸出免税還付金を公表していない事になるが、法律に基づくものとはいえ、多額の税金を還付してその総額も公表しないという会計処理が許されるのか？

2. 消費税は国民に二重の負担を求める悪税、について

(1) 政府と地方公共団体は誰の負担で、何故消費税を負担するのか？

(2) わが国の障害者雇用納付金制度において、国、地方公共団体、教育委員会等は何故納付金の徴収対象とされていないのか？

(3) 米国は、レーガン大統領以来、何度か検討したのに何故政府が世界標準だという消費税（付加価値税）を未だに導入しないのか？

(4) 政府と地方公共団体ともに、一般会計、特別会計ごとに消費税をいくら負担しているのか、平成元年以来公表していないが、予算書、決算書で公表すべきではないのか？

3. 封建時代の人頭税と同質の消費税は、全世代型社会保障の切り札ではない

(1) 元大蔵官僚があげる消費税の長所・短所はほんとうか？

〈長所〉

- ① 同等の消費水準には同等の税負担を求める「水平的公平性」に優れる。
- ② 特別措置が少なく簡素な税制。
- ③ 安定した税収が得られる。
- ④ 税負担が勤労世帯に偏らない。
- ⑤ 輸出時に還付されるので国際競争力を弱めない。
- ⑥ 貯蓄に課税しないので資本蓄積に有利。
- ⑦ 消費という欲望の充足時に課税するので哲学的に受け入れやすい。

〈短所〉

- ① 逆進性（低所得者ほど所得に占める税負担が重い）
- ② 益税（事業者の手元に残る）

(2) 消費税率を上げれば上げる程、恩恵を受ける者は誰か、一方苦しくなる者は誰か。

(3) 消費税（付加価値税）を福祉目的税にしている国は、日本以外世界中にどこにもないのではないのか？

(4) 行き過ぎた直間比率の見直し、つまり消費税は減税、法人税と所得税は応能負担の適正化等の、三税一体改革をしなければ、経済も財政も賃金も良くならないのではないのか・・・資料2

要求大臣等　：　財務大臣・政府参考人

おわりに